

連続共育セミナー (39) 回を開催します

3月29日(火) 18:00~20:00

大和市民活動センター会議室

神奈川県とマイクロソフト(株)との協働事業
「NPOパワーUPセミナー」~IT活動講座の報告~



ちょっと使ってみようかな
~IT導入の利点~

市民活動課の市川です。
ちょっとドキドキしてます。

ITを使うとどんな便利なことがあるのかということ、具体例を使って紹介をします。



持ち帰って、皆に報告を。
IT講座では寝なかった
「拠点やまと」望月です。

「サービス・プログラム」の紹介です。

- いろいろなテンプレート紹介。
チラシや集計などが挿入できます。
- ソフトウェア寄贈プログラムの紹介。
団体資格確認後ダウンロードになります。
- クラウド(SkyDrive)大容量25GBのオンラインストレージ(無料)の利用です。
マイクロソフトにサーバーやシステムを任せて、インターネット経由で共有利用できます。参加の皆さんが知っているプログラムも共有しましょう。

「健康と元気はちがう」に20人が集合

連続共育セミナー(37)回の報告

1/26(水)18:00~20:30開催しました

健康で暮らす5か条

- ・タバコは吸わない。
- ・大食いはしない…腹八分目
- ・ラジオ生活のすすめ…イメージを高める
- ・便秘の予防…食物繊維、水分を摂る
- ・抗酸化ビタミンを摂取…サプリメントで効率よく摂る

次はサプリメントに詳しいドクターを紹介します。

増田愛一郎先生



「ドイツの市民活動事情」

~カールスルーエとブレーメンを訪ねて~

連続共育セミナー(38)回の報告

市民活動課村山真弓さん 2/15(火)18:00~20:00開催しました

見てきて、感じたことは 地域の課題を「じぶんごと」にする仕組みがあった

村山さんの報告を聞きながら、短い視察出張(去年10/24~31)の旅程にもかかわらず、市行政の仕組みと市民の発想や考え方にふれ、なにか手ごたえを得てきた実り多いドイツ2都市の訪問だったように思えた。

ヨーロッパツアーなどから帰国した人たちがよく「どの街も絵はがきみたいにきれいだった」と言う。どの街も歩いていて、気持ちがよかったとも。

なぜだろう。思い出してみたら、街に自動販売機と野放図な広告と電線がなかったということ例えば発見する。そうした街の景観はその市民と市行政がつくった反映物だ。街の散歩が快適で安全が保障されるにはこうでありたいと市民が「じぶんごと」として、発言し、議論を重ね、提案をきちんとしたカタチにしていく。ここに中間支援組織の存在と出番があるようだ。

今回、村山さんは美しい風景を守ることは幸せのひとつとする「草原の果樹保護協会」を訪ね、行政、企業と協働するその中間支援組織の実力と高い経営能力を見てきた。こうした力ある「協会」は一朝一夕でできたものではないはず。次回のドイツ出張では、街づくりを「じぶんごと」にしてきた「秘密」をさぐってきてください。(レポート・小杉)

セミナーおすそ分け

「読まれる広報誌の作り方」を学んできました

2/9(水)かながわ県民サポートセンターで開催されたセミナーに参加しました。編集のプロが語る、紙面づくりの極意をほんのちょっとおすそ分けします。

- ① 見出しは究極のエッセンス
見出しをつけてから記事を書く。
(シャッターを押す前にピントを合わせるように)
- ② 短い見出しほどパワーになる
森羅万象は13文字に収まる。
- ③ リード文を大切に
見出しとリード文ができたら、それに序・破・急を盛り込む。
 - ・序…5W1H
 - ・破…詳細・補足
 - ・急…結論
- ④ ひとつの文章を短く
短い文章の方が人の頭に入る。(石川美恵子)

「センター」のある日ある時

2月10日(木)くもり

女子大生4人がセミナーの看板を見て来館。ひとは「ブレーメンはバスで通っただけ…」とあまり印象がない様子。他の3人は海外旅行をしたことがないが、グリム童話『ブレーメンの音楽隊』に詳しい。「彼等はブレーメンに行っていないのよ。知ってる?途中で住み着いちゃって…」「ぶらり旅もいいけど、目的持って旅行しなよ」この時間は若さあふれる明るいセンターでした。